

自治体の課題、現状

- ・本町は、昭和60年の24,353人をピークに加速度的に人口減少が続いており、令和6年の人口は15,048人、高齢化率は47.1%となっており、地域社会を支える人材の養成が大きな課題となっている。
- ・現在町内には2校の中学校があり、両校に吹奏楽部がある。そのうち1校においては地域移行が進んでいるが、もう1校は部活動として活動が継続していることから地域クラブに合流するための準備を行っている。
- ・その他、美術部が1校において存続しているが、地域クラブ化の目途はたっていない。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	247人
域内の部活動数	3部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	白老町教育委員会生涯学習課・白老吹奏楽団		
主な種目	吹奏楽		
平均的な活動回数	3回/週	年間平均参加生徒実数	3年：1人/クラブ 2年：1人/クラブ 1年：2人/クラブ
参加会費	2,000円/年	主な活動場所	白老町コミュニティセンター

地域移行関連の取組、成果

吹奏楽部の地域移行について

- ・地域の社会人で構成される「**白老吹奏楽団**」との連携の下、吹奏楽部の地域移行を進める運びとなった。
- ・2校のうち1校において吹奏楽部の地域移行が進んでおり、クラブには4名の生徒が在籍。
- ・**指導者としては同団体の団長**へ委任し、8月以降**週3回のペース**で白老町コミュニティセンターを拠点に活動を実施。人数が少なく、演奏できる楽曲に制限があるが、定期的に**同楽団から支援者を募ることで演奏の幅を広げることができている**。
- ・これまで地域に出向いた**演奏会を3回開催**し、住民に活動成果のお披露目できたほか、**生徒のモチベーション**にもつながっている。

運営体制図

